

令和4年度教育事業 インターナショナルキャンプ

1. ねらい

- ・国際交流、異文化理解に関心を持ち、価値観の違いを認め尊重する態度を養う
- ・外国語に親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う
- ・国内外の様々な課題を知り、SDGs への関心を持つ

2. 実施日

令和4年10月8日(土)～9日(日) 1泊2日

3. 対象者

小学4年生 ～ 中学2年生

4. 参加者 / 募集定員

21名 / 25名

5. プログラム (要約)

オープニングにてアイスブレイクを行ったのち、昼食をはさんで「パスポート作り」を行った。その後、自作したパスポートを持って、各研修室を外国に見立てた「SDGs 世界旅行」に出かけ、夕食後はワークシートを用いて「1日のふりかえり」を行った。翌日、前日の学びを模造紙にまとめ、「自分たちにもできること」としてグループごとに発表を行った。

6. 当日の様子

スケジュール

10月8日(土) 1日目

- 「オープニング」
- 「自分のパスポートを作ろう」
- 「SDGs 世界旅行」
- 「1日のふりかえり」

10月9日(日) 2日目

- 「朝のつどい」
- 「自分たちにもできること (発表)」
- 「アンケート」
- 「クロージング」

10月8日(土)

今年度の国際交流事業では、カナダ、アメリカ合衆国、ニカラグア、フィリピンの4か国から合計5名のALTに参加してもらった。オープニングでは、ALTからの自己紹介やアイスブレイクの時間があり、外国語が自然と飛び交う雰囲気が醸成された。

「自分のパスポートを作ろう」では、職員からパスポート(旅券)について説明を受けたのち、参加者それぞれが自分のパスポートを作った。パスポートの記入欄には、名前や生年月日のほかに、「好きな食べ

物」や「好きな色」などの欄もあり、グループ内の自己紹介にも利用されていた。

その後、作成したパスポートを持って「SDGs 世界旅行」に出発した。ALTの出身国それぞれに研修室が割り当てられ、その国の観光地の写真や特徴的な物品で飾り付けられている。参加者たちはグループごとに各国の研修室を巡り、ALTからその国が抱える課題や取り組んでいる活動について話を聞く。その内容は食糧問題から環境問題まで様々で、参加者たちはそれぞれの国の取り組みについて、日本と比べながら熱心に聞いていた。

夜は、グループごとにワークシートを用いて1日の学びをふりかえる時間を取った。それぞれで「世界の課題」や「自分にもできること」について考え、それらを共有することで翌日に行う発表に向けた良い事前協議になっていた。



10月9日(日)

この日は、1日目の学びをもとに、自分たちにも普段からできることを考え、それを模造紙にまとめて発表する活動を行った。参加者たちは前日の夜に行ったふりかえりシートを活用しながら、グループごとに内容やレイアウトについて話し合っていた。

発表では、今回の事業を通して初めて知ったことや驚いたこと、また問題だと感じていることなどに触れつつ、「必要な物だけ買うようにする」、「食べ残しをしない」など、自分たちで考えた、普段からできるSDGs貢献を述べていた。その後、その内容に関してALT一人一人から講評をもらった。

7. まとめ

今回は、国際交流や異文化体験をしながらSDGsについて学ぶことで広い視野や価値観を身につけることを目的として事業を展開した。活動を通して、世界の抱える様々な課題に対して、それぞれの国で特徴的な対策が講じられていることを参加者に伝えることができた。特に、SDGsに対する国ごとの取り組みは、普段耳にする機会がないものばかりで、参加者が異文化や国際貢献に関心を持つきっかけになったと感じる。また、事前と事後に行ったアンケートからも、外向き志向の上昇を感じられる結果を得ることができた。

(企画指導専門職 山内康平)